

2025 年 11 月 8 日

班番号

1

進行役

書記係

発表者

タイトル

[

New 里山 ファンが来たくなる公園

]

目指すべき里山

ーおいしい!楽しい!里山エンター

・季節毎にいろいろな表情がみれる

・レクリエーションができる

・気軽に来園できて楽しめる

地域連携

※地域との合意形成をしながらすすめていく

・住民との協働活動、ボランティア活動

・子供たちと一緒に学ぶことができるプログラム

ex) 枝抜きイベント、道具の貸し出し、葉っぱあそび、落葉ゲーム

こんな里山にするために...

地域連携

エリア特性

※里山の色々な楽しみ方や表情を見せる

・湿地 ・明るい雑木林

・ため池 ・草地環境

⇒環境教育の場や楽しみを提供

利便性

※気軽に参加できる仕組みづくり

・管理者による道具の貸し出し

・SNS等の広報発信

・出口のある管理

エリア特性

利便性

里山の管理やイベントを通して「きっかけ」を作り、魅力を幅広く伝えていく!

2025年11月8日

班番号

2

進行役

書記係

発表者

タイトル

「様々な世代に親しみを持ってもらえる 日本の原風景」

課題

- 人手^{予備}~~人員~~不足
- ~~巡環の為の知識不足~~
- ~~生態系保全とのバランス~~
(外来種除去・在来種保護)

市限地域協働

学習 ^{作業} 発信



里山を知っている人からの~~伝承~~
農業体験(田うえ 植樹体験 かもっ作)

2025年11月8日

班番号 3

進行役

書記係

発表者

タイトル

[次世代につなぐ'ビオトープ'里山]

課題： 人手が足りない
ボランティアの高齢化

▶ 若者が集まってくる
ビオトープ里山へ。

★「かいぼりまつり」を開催する。

・まつりで里山を知ってもらう

・モニタリングを地元の大学等と協力して行う

↑ 親子参加型 環境学習の場。

餌を
持った親子に
ボランティアが
案内する

ヨシ・マコモなど
刈り残し、生物のすみか・産卵場所に。

水そうに
水辺の生物を
展示

地域性の植物をメインに

ドングリ等のタネから
実生までを
地域住民に
育ってもらう

薪炭チップ
水の浄化にも

原木でしいだけ栽培
EX-フバきの種を地元住民に配布
城山公園

1月 8 日

2025年 11月 8日

班番号

4

進行役

書記係

発表者

タイトル

[地域に愛される里山景観の継承]

課題

管理者側の
資金・人手不足

管理計画・ビジョンの設定

鬼未力あふれる

里山

収益化

● 地域の人々へ
産物の還元

● 企業参画,
CSR・イノベーション↑

★ 体験型

● 地域をまきこん
だイベントの
実施(関わる人↑)

● 維持管理技術
の継承

● 専門家を
アドバイザーとして
つける

配布
公園

2025年 11 月 8 日

班番号 5

進行役

書記係

発表者

タイトル

[人と自然が交流する場と

文化の継承空間]

課題

・担い手不足

提案

ボランティアを増やす

課外授業の利用

民間会社との連携

・在来種の保全
外来種の排除

モニタリング調査と学習
観察会の実施

・利活用のための
動機づけ

レクリエーション
機会の提供
(稲作・畑作り)

家族層の受け入れ

2025年11月8日

班番号 6

進行役

書記係

発表者

タイトル

里山文化の継承 "つなげ! 里山カルチャー"



草木管理

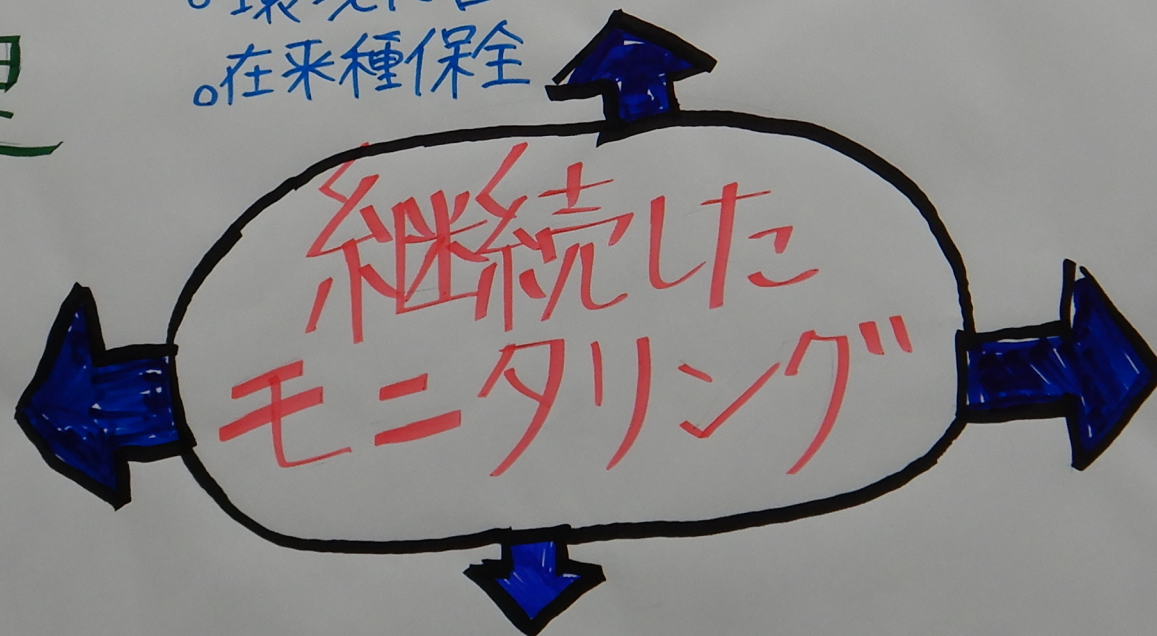
- ・下草刈り
- ・枝払い
- ・除伐間伐



水辺環境



- ・草刈, 泥上げ
- ・環境に合わせた水量調整
- ・在来種保全



- ・人材不足
- ・知識・技術不足
- ・里山保全活動の体験イベント

あいつらをやっつけろ!!

外来種対策

選択的除草

在来動物植物の保全

イベントで対策実施

- ・アメリカザリガニ
- ・セイタカアワダチソウなど



・ザリガニ釣り など

「楽しみながら」「参加しやすく」

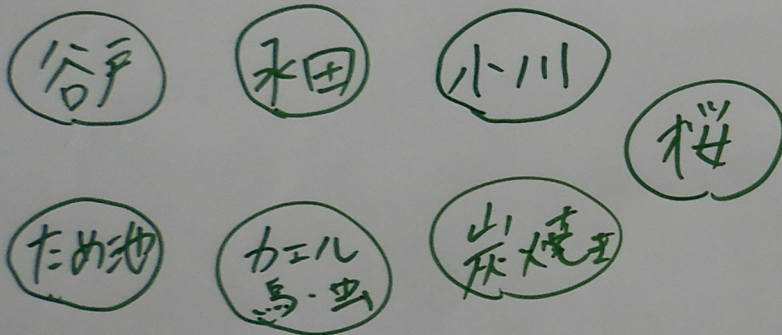
外来種を減らせる工夫を!

タイトル

[つなぐ ～ 持続可能な里山管理]

目指す姿

子どもがなつかしいと思える景観



現状

✓ 木古損木の放置
✓ 雑草繁茂

..... 手入れが行き届いていない

課題

管理のための 資源 が
不足 8⑤.....

✓ 担い手の高齢化

✓ 予算の不足

✓ ボランティアがけがと無理...

対応

① 調査

✓ 専門家

✓ ドローン・GISのテクノロジー

✓ 研究機関

② 巻き込み

✓ 市民

✓ 高等学校・大学

✓ 企業(CSR)

③ 資源の有効活用

✓ 系集のIT化

✓ 炭化材の販売

2025年11月8日

班番号 8

進行役

書記係

発表者

タイトル

愛されるための SATOYAMA

利用者増加プロジェクト

植物管理

- ・刈払講習
- ・植栽イベント
- ・樹木の点検

広報活動

- ・SNS・HP他
- ・掲示

防災対策

- ・くまよけ
- ・ひなん場所の確保
- ・倒木管理の徹底

イベント

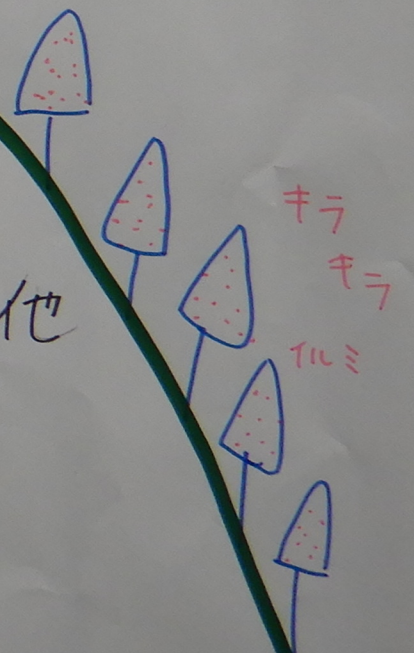
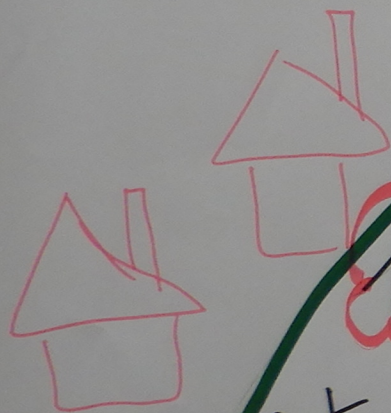
・キャンプ

・サウナ

・流しとうめん

・レクレーション

・木工教室



キラ
キラ
イルミ

タイトル

「里山管理をレクリエーション化！」

課題

- ・予算不足
- ・人手不足

安心 安全な
里山環境を
目指します

提案

収益化

薪や炭の活用 → バーベキュー

園内で穫れた作物販売 ・はちみつ ・リース
・干しガキ

コストダウン(人とお金)

- ・地域ボランティア・小学生 → 稲作体験
- ・作業のゲーム化 → 木くず発見ゲーム、落葉集め...

2025年 11月 8日

班番号 10 班

進行役

書記係

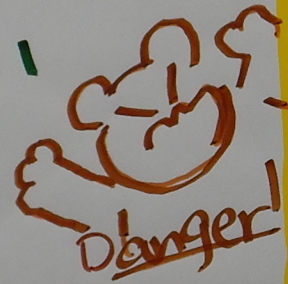
発表者

タイトル

「里山」ってワードぴんとくる人 どれだけのいるの問題

「なぜ知らないか」

- ・里山が身近でない
- ・荒れてて、立入れない
- ・知るき、かけかたない



「なぜ荒れているか」

- ・管理コスト
- ・人材不足・高齢化
- ・外来種

「じゃあどうする？」

著名人を呼ぶ

人々が興味を持つジャンル

企業 CSR

クラウドファンディング

美しい
日本の原風景を
取り戻せ！

2025 年 11 月 8 日
班番号 11 班
進行役
書記係
発表者

タイトル

[里山の自然と生かしたイベントを行うための植物管理]

里山は資源の宝庫！

課題

人手・コスト不足で
管理が出来てない

何が植えられているか知る
(調査イベント)
子供の参加

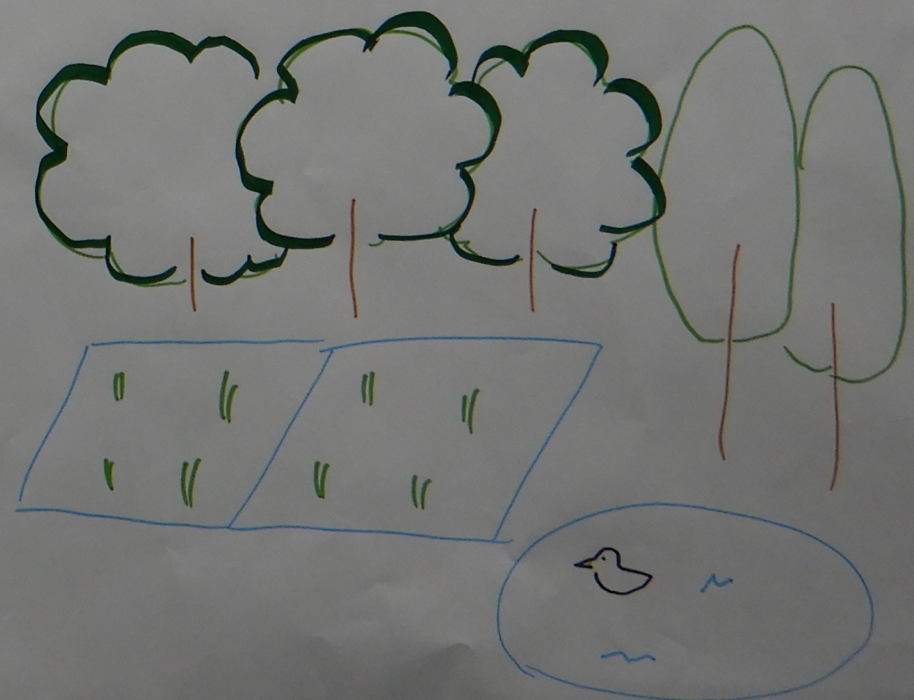
これによって……

里山へのシビックプライド
醸成

捨ててしまうもの
あつかいに困っているもの } 知る

イベントにつなげる

(和紙作り, 昔遊び, 雑草ガク)



2025年11月8日

班番号 12班

進行役

書記係

発表者

タイトル

公園管理運営士による里山コーディネート

課題: 里山の放棄
(森林がうっそうとしてる)

- ① 代採した資源の利活用
- ② 里山管理人不足
- ③ 倒木などの危険
- ④ 外来種の侵入
知識不足

<コネクト>

公園管理運営士
(HUB)

<自分も
グループ>

具体策

- ① レクリエーション(資源活用促進)
- ② 行政企業連携(両方組織)
- ③ 専門家にお任せ講習
- ④ 地域有識者連携
(調査・啓発)



タイトル

「人と自然のつながりを守る」

① どのような景観？

「人の営みが見える」

→ 田

→ 畑

→ 薪炭林



② 課題

・人手不足

(専門技術を持った人)

③ 提案

人集めと役割分担

具体的方策

- ・多種多様な人材集め
 - ・ボランティア
 - ・OB OG
 - ・ロードアレーヤー
 - ・コンテンツ (子供と親)

・仕組みづくり

- ・学校や地元企業との連携

2025年11月8日

班番号 13

進行役

書記係

発表者

2025 年 11 月 8 日

班番号

14

進行役

書記係

発表者

タイトル

「地域をまき込んだ里山づくり」

〈課題〉

〈解決策〉

◎予算・人手不足

◎地域住民・ボランティアとの協働

◎外来種問題

◎里山の認知不足

イベント開催
による里山周知

自治会や
行政機関との
連携

管理者の
体制強化

変着

地域活性

植樹
イベント

たけのこほり
田

稲作体験

炭づくり

タイトル

[生き物いっぱい!! ～観察する里山～]

課題

- 高齢化による手入れ不足
- ・倒木や折れ枝の増カ
 - ・防犯面の低下
 - ・外来種の増カ



提案

- 里山を継続するための担い手
～小学生の生き物調査～

カリキュラム例

1年生 → ドングリ拾い & 工作

2年生 → 植樹

3年生 → 生き物調査

4年生 → レいたけの原木 & 栽培

5年生 → 落ち葉で肥料づくり

6年生 → インセクトホテル

- ・益虫の保護
- ・外来種の抑制

2025年 11月 8日
班番号 16
進行役
書記係
発表者

タイトル

[未来につなぐ里山管理 ~高齢者と若者のマッチング~]

目指す方向性

里山環境がずっと続くようにする!!

課題

①人材不足で技術が失われる

⇒維持できなくなる (剪定、米づくり、畑... 専門知識)

提案

①学校の研究の場として使ってもらう。

②企業のCSR活動に使ってもらう。

PDCA
サイクル

公園管理士

「私たちができること」

・安全
・法令
・プログラム化
・協議会

タイトル

[市民参加による **里山** 管理 ~ プロボランティアを育てる ~]

令和7年11月8日

班番号 17

進行役

書記係

発表者

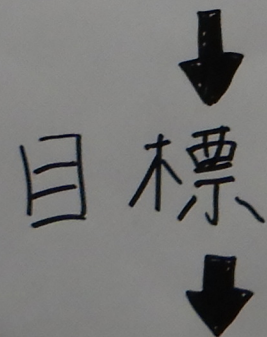
【課題】①人手不足 (管理者側)

②利用者の減少

↳ 誘致方法

【提案】

公園のゾーニング (管理計画)

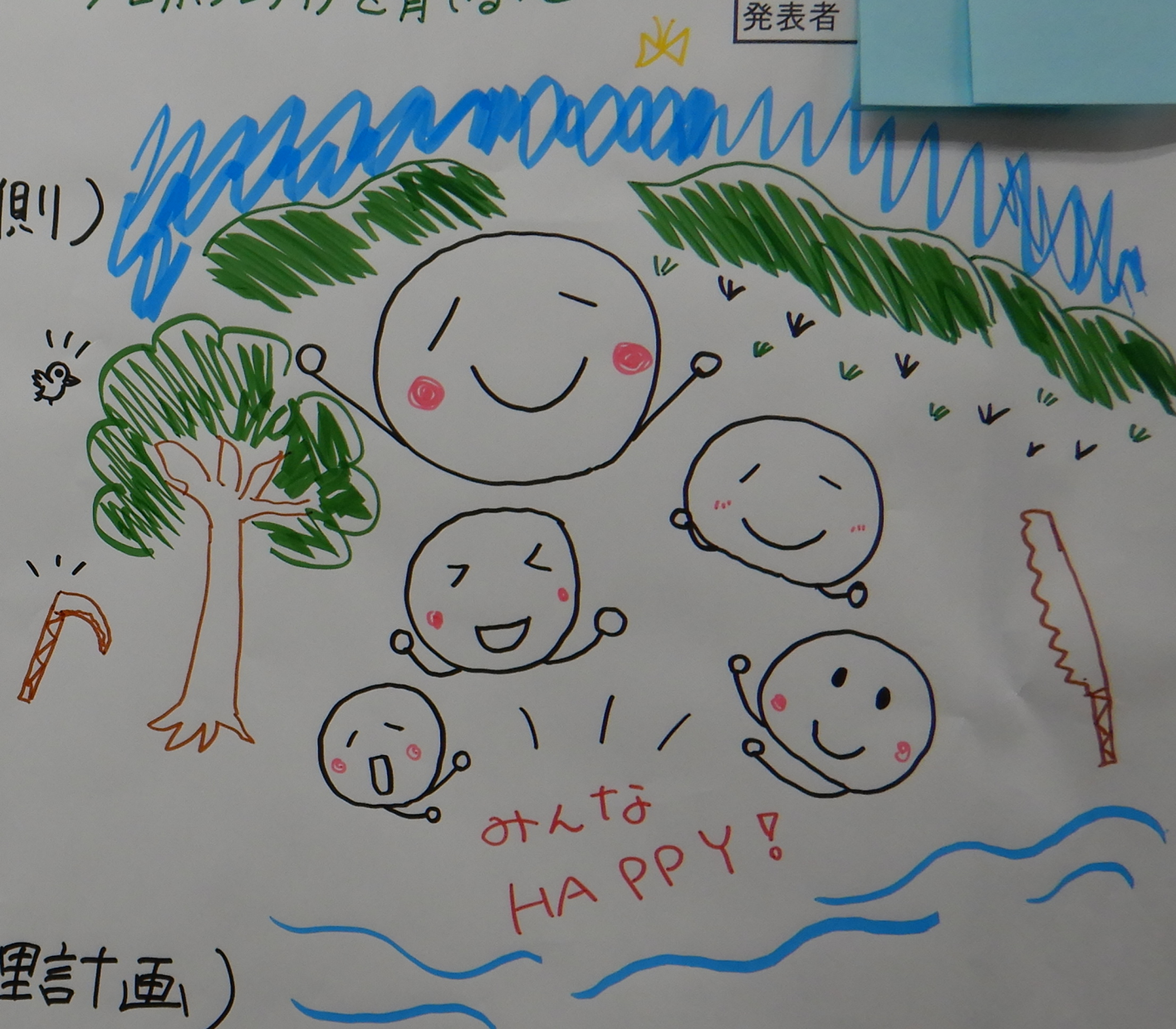


イベント ➡ ボランティア ➡ 講習を受けプロに転身

プロになるための道

} イベントも

中バに活動



R7年11月8日
班番号 18
進行役
書記係
発表者

タイトル

[里山を次世代につなぐための人材確保の工夫]

[課題]

- ・ 人手不足による里山の荒廃
- ・ 外来種 ナラ・枯れ木等.

○ 提案内容

- ・ イベントの開催
ドングリの木を植える。
やまいも等。
エッジリ体験
- ・ 専門家へのヒアリング
- ・ ボランティアへの
技術や物資の提供
- ・ 企業との連携
- ・ 環境教育等、興味さ
もってもらい

